

第107回 特別田園コンサート

加来徹・松岡あさひ デュオコンサート

- ♪ おてもやん／熊本民謡(松岡貴史編曲)
- ♪ 山法師の花／松岡みち子
- ♪ 新作／松岡あさひ
- ♪ 歌曲集《詩人の恋》／R.シューマン ほか

加来 徹(かく とおる):バリトン



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同時に新人演奏会出演。同大学院修士課程独唱科を首席で修了。修了時に大学院アカンサス賞を受賞。武藤舞奨学金を受ける。二期会オペラ研修所マスタークラス第55期を総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞を受賞。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。併せて、日本歌曲賞、日本R.シュトラウス協会賞を受賞。世界各国の歌曲に幅広いレパートリーを持ち、バロックから現代まで幅広いレパートリーをそれぞれのスタイルで演奏するのを得意としている。その他にも、オーケストラでの歌曲演奏でも活動を広げている。G.ボッセ、M.アンドレーエ、E.オルトナー、F.レニック、鈴木雅明、現田茂夫、小泉ひろし等の指揮者のもと、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア、九州交響楽団等と共演。オペラでは、モーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》のグリエルモ役でデビュー。モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》のタイトルロールをはじめ、《フィガロの結婚》のアルマヴィーヴァ伯爵、《魔笛》の弁者、ドニゼッティ《愛の妙薬》のベルコーレ、《ドン・パスクアーレ》のマラテスタ、ヴェルディ《椿姫》のジェルモン、ドゥフォーール男爵、オッフェンバック《ホフマン物語》の悪魔3役(コペリウス・ミラクル博士・ダペルトゥット)、ビゼー《真珠とり》のズルガ、《カルメン》のモラレス、J.シュトラウス《こうもり》のアイゼンシュタイン、ヘンデル《アリオダンテ》のオドアルドなど、数多くの役を演じている。2012年7月、デビューアルバム「Kaku Toru Debut」をリリース。2015年6月、セカンドアルバム「加来徹×ドイツ歌曲」をリリース。フェリス女学院大学非常勤助手、二期会会員、マネジメント(株)二期会21。後援会サイト後援会HP→
<http://www.kaku-toru.net/>

松岡 あさひ(まつおか あさひ):作曲・ピアノ



1985年、ドイツ・デュッセルドルフ生まれ、徳島県徳島市育ち。幼少より作曲家の両親からピアノ、作曲を学ぶ。東京藝術大学音楽学部作曲科首席卒業。同時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。2006年、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第2位。2007年、東京藝術大学モーニングコンサートにてオーケストラ作品《空に読む光》が藝大フィルハーモニア(指揮＝小田野宏之)により初演される。2008年、東京藝術大学新卒業生紹介演奏会にてピアノコンチェルト《R-'08》が、藝大フィルハーモニア(指揮＝田中良和、ソリスト＝入川舜)により初演される。同年、奏楽堂学内公募最優秀企画「怪談」においてオペラ「荒絹」が初演され、好評を博す。2011年、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。これまでに作曲を佐藤眞、北村昭、松下功、小鍛冶邦隆の各氏に、ピアノを岡原慎也、森正、秦はるひ、Richard Wassmuth、Klaus Schildeの各氏に、チェンバロを大塚直哉氏に師事。2012年より、文化庁新進芸術家海外研修員として、ドイツ・シュトゥットガルト音楽・演劇大学に留学し、作曲をCaspar Johannes Walter氏に、オルガン演奏法をMartha Schuster氏に師事。現在、東京藝術大学演奏芸術センター教育研究助手。

日時	平成28年8月11日(木) 14:00開演
場所	徳島市名東町2丁目456番地 ケアハウス田園 4階田園ホール TEL088-633-6567
入場料	2,000円